

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および
KPI実績値の公表について

2025年12月

0 序文

2025年12月1日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および KPI実績値の公表について

当組合は、「食・農・くらし」を基軸とした地域密着型の事業展開を進め、地域農業の更なる振興と組合員・地域からの負託に応じられる、海部地域になくてはならないJAを目指します。

当組合では、この理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することができる統一的な指標」（「比較可能な共通KPI」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）が、共同で事業運営しております。

あいち海部農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および（注）、原則3（注）原則6本文および（注2、3、6、7）補充原則1～5本文および（注）】

- ・組合員・利用者の皆さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、運営会社におけるプロダクトガバナンスの取組や社会情勢、手数料等の水準を把握したうえで、組合員・利用者の皆さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適なJAバンクセレクトファンドを取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- ・JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取り入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。
- ・組合員・利用者の皆さまに対面で金融商品を販売する際には、適合性チェックシートを活用して、適切に販売しております。
- ・なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2025年3月末時点）＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：4)
株式型	4 (前年度末：4)	5 (前年度末：5)
REIT型	2 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

＜商品選定の考え方＞

- 1.長期投資
長期投資を前提とした投資信託であること。
- 2.手数料
手数料が良心的な水準であること。
- 3.運用実績
過去の運用実績が相対的に良好であること。
- 4.将来性
資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと。
- 5.運用体制
運用体制について、外部機関の評価を得ていること。

※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/>

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- 当組合は、「ひと・いえ・くるまの総合保障」として、生活や農業の様々なリスクに対して安心して備えられるよう、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- 市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。

● 生活や農業の様々なリスクにお応えするひと・いえ・くるまの総合保障

万ーの備え		就労不能の備え	介護・認知症の備え	老後の備え	学資の備え	令和6年度末 <契約件数>
●一生涯にわたって備えられる万一保障	「終身共済」	●働くなくなるリスクに備えられる安心の保障	●一生涯にわたって備えられる介護保障	●自分で準備する将来の年金保障	●お子さま・お孫さまの教育資金の備えと万一保障	 81,229件
●貯蓄しながら備えられる万一保障	「養老生命共済」		●一生涯にわたって備えられる認知症の保障		●子ども共済	 38,858件
●お手軽な共済掛金でライフステージに応じた必要十分な万一保障をしっかり準備	定期生命共済(遅減期間設定型) 「みちびき」				「学資応援隊」	 22,454件
●日帰り入院からまとまった一時金が受け取れる充実の医療保障	医療共済 「メディフル」					 19件
●「生きる」を応援する充実のがん保障	「がん共済」					
●最近の生活習慣病のリスクに備える保障	特定重度疾病共済 「身近なリスクにそなエール」					
●火災はもちろん地震にも備えられる建物・家財の保障		●お車の事故による賠償やご自身とご家族のケガ、「クルマスター」修理に備える	●農業において発生するさまざまな賠償リスクを幅広く保障			

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- ・総合満足度は令和7年3月末時点で95.7%となっており、高水準を維持しております。
- ・なお、共済事業については、全共連と共同で事業運営を実施しており、お客さまの声や実際に販売した顧客情報等について相互に連携しております。

令和6年度JA共済総合満足度調査における【総合満足度】

総合満足度

95.7%

※総合満足度…JA共済全般に対する満足度

※総合満足度は、6段階評価で
「とても満足+満足+やや満足」の割合



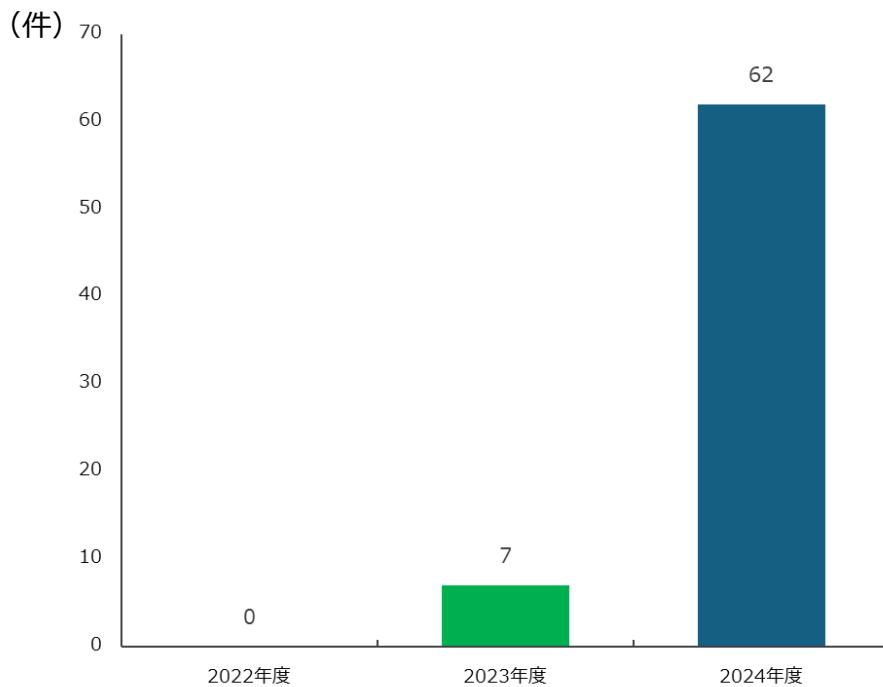
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

(1) 信用の事業活動

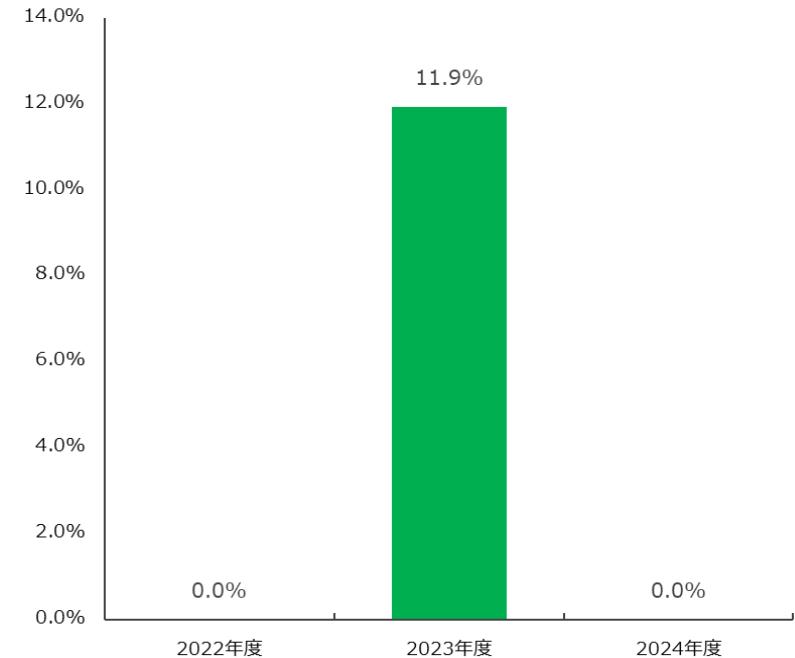
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1~7)】

- 組合員・利用者の皆さんに安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の皆さんの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率が低下いたしました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞

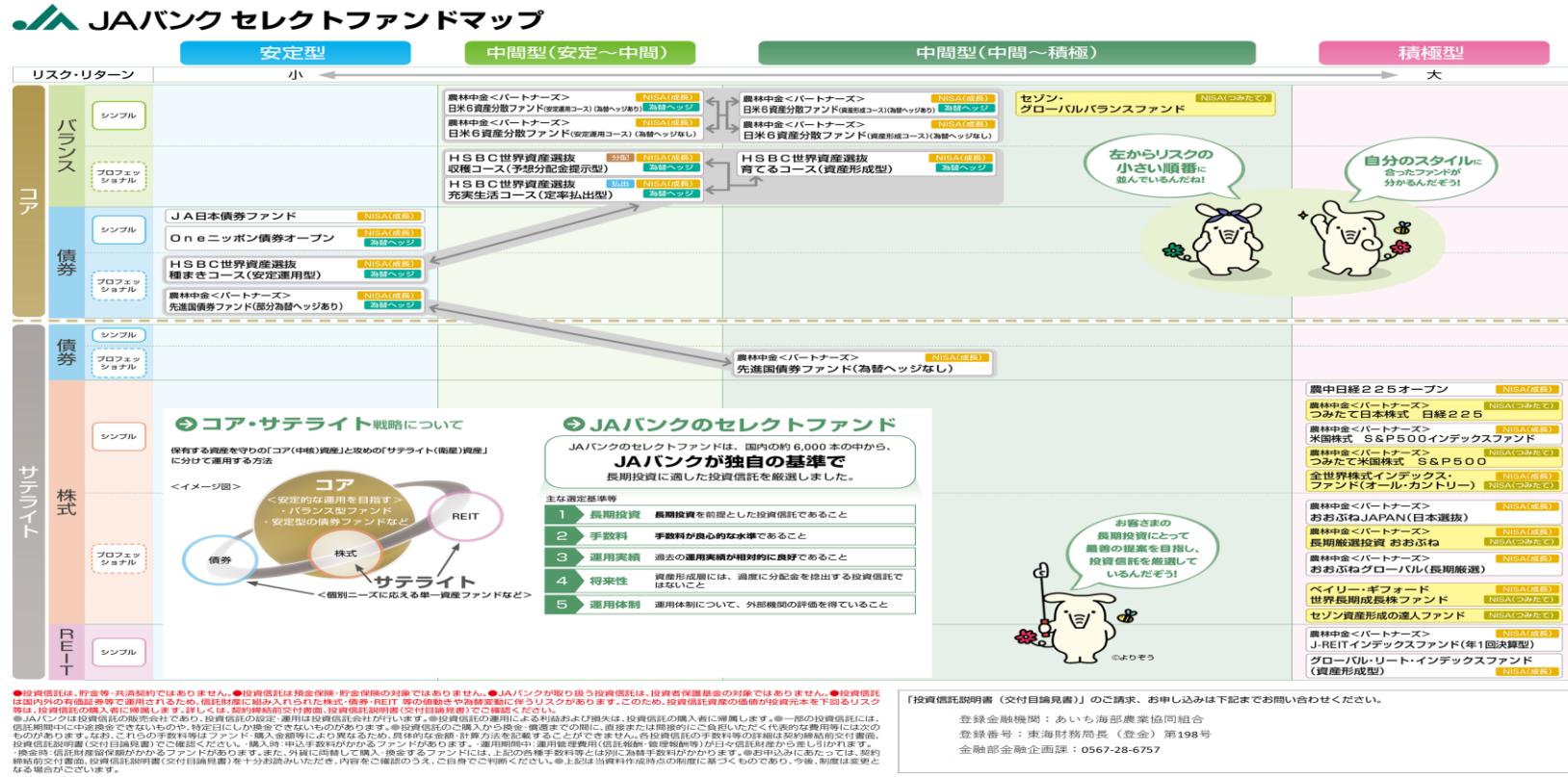


2 組合員利用者本位の提案と情報提供②

（1）信用の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

- ・組合員・利用者の皆さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、JAバンクセレクトファンスマップ、JAバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
 - ・なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。
 - ・組合員・利用者の皆さまの属性・適正を判断したうえで、適切に販売しております。



I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

(2) 共済の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

- ・組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向を適切に把握して、ご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。
- ・各種手続きのご案内などアフターフォローで組合員・利用者の皆さまに寄り添った取組みを実施しております。
- ・保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまに手数料等はご負担いただいておりません。

●組合員・利用者の皆さまに寄り添った保障提案や情報提供

組合員・利用者のニーズやライフスタイルに応じて、各種公的保険制度やライフプラン設計等にかかる情報提供をわかりやすくかつ丁寧に行っております。

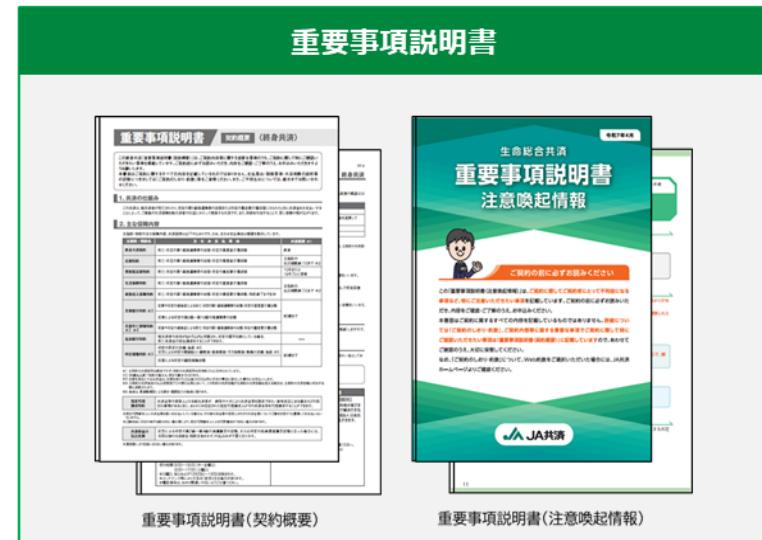


●意向把握・確認

組合員・利用者の皆さま一人ひとりの意向を適切に把握・確認し、最良・最適な共済仕組み・サービスを提案しております。

●ご契約に関する重要な事項等の説明

ニーズに合致したと思われる共済仕組み・サービスについては、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。



2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③ (2) 共済の事業活動

● ご高齢の組合員・利用者の皆さんに配慮した取組み

ご家族も含め十分ご納得、ご満足いただけるよう、提案説明時、契約締結時に、ご親族の方に同席、電話等により確認いただく対応を基本としており、高齢者対応における親族等の同席の割合は、令和6年度は**97.3%**となりました。

なお、令和7年度から新たに「共済契約のお手続きに関するご案内」をお渡しし、ご契約者さま・被共済者さまだけでなく、ご親族の方にもご安心いただけるよう努めております。

● 組合員・利用者の皆さんへの3Q活動

ご加入いただいた後も、3Q活動を通じて適切な保障が提供できていることを確認、共済金等の請求勧奨を実施するなど組合員・利用者の皆さんに寄り添った取組みを行っております。

令和6年度末

3Q活動実施数：18,760人

3Q活動は、組合員・利用者の皆さんに、「感謝の気持ち（サンキュー）」をお伝えし、3つの質問（Question）を通じて近況や共済金等の請求忘れの確認を行うことです。

また、訪問による3Q活動に加え、電話による3QコールやWEBを活用して情報提供を行い、組合員・利用者の皆さんとのつながりを持てる活動を実施しております。

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

● 各種お手続きとアフターフォローの実施

各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さんに分かりやすくご説明しております。

将来、ご自身によるお手続きが困難になった場合の備えとして、「指定代理請求人」にご家族を指定いただくことをご案内しております（生命総合共済の場合）。

令和5年度からは支払い請求手続きの簡素化を推し進めるなど、組合員・利用者の皆さんへの利便性向上に向けて取り組んでおります。

● デジタル技術を活用した利便性の向上

「Webマイページ」「JA共済アプリ」を活用してインターネットでのお手続きが拡充しており、アフターサービスの充実を図るため、組合員・利用者へ「Webマイページ」「JA共済アプリ」の登録促進を行い利便性の向上に取り組んでおります。

Webマイページ



令和6年度末
登録者数 **17,614** 名

JA共済アプリ



令和6年度末
登録者数 **5,503** 名

I .取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則 3本文および（注）】

- 当組合では、組合員・利用者の皆さまへの商品選定や情報提供にあたり、組合員・利用者の皆さまへの利益が不当に害されることのないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。

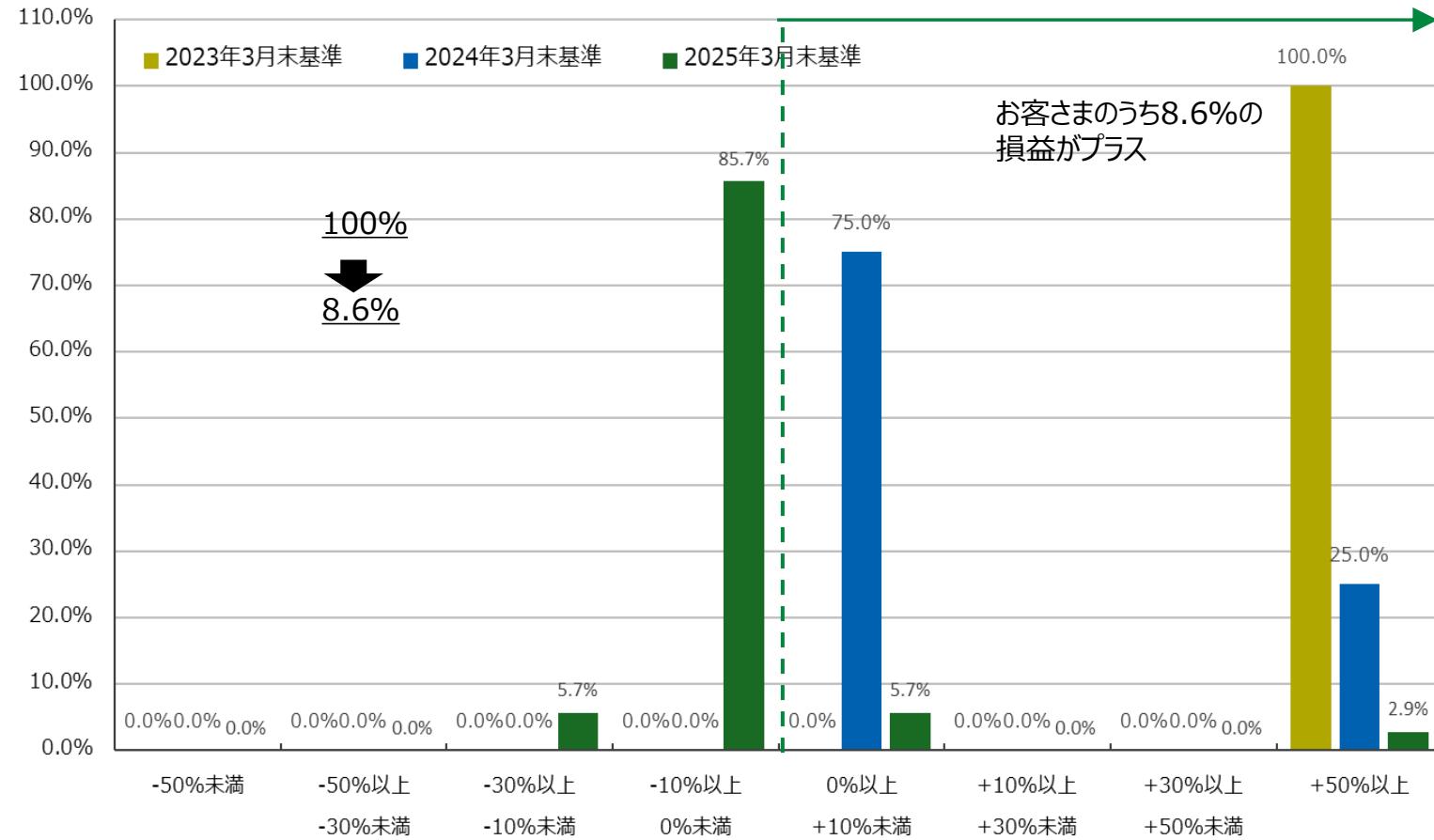
4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

- 当組合では、職員への研修実施による指導や暮らしに必要な資金の幅広い知識を有するファイナンシャルプランニング技能士等の資格取得の推進を通じて、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。

II. 比較可能な共通 KPI

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の8.6%のお客さまの損益がプラスとなりました。

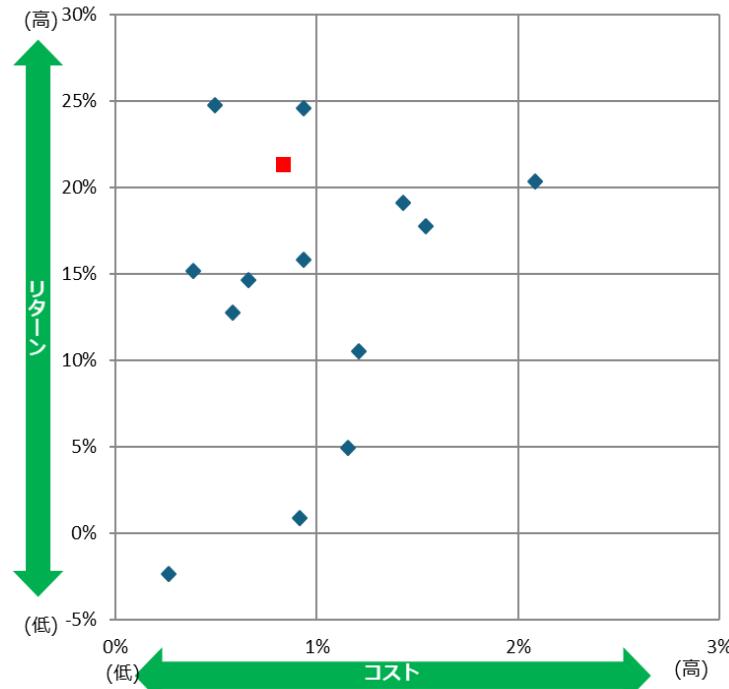


Ⅱ.比較可能な共通KPI

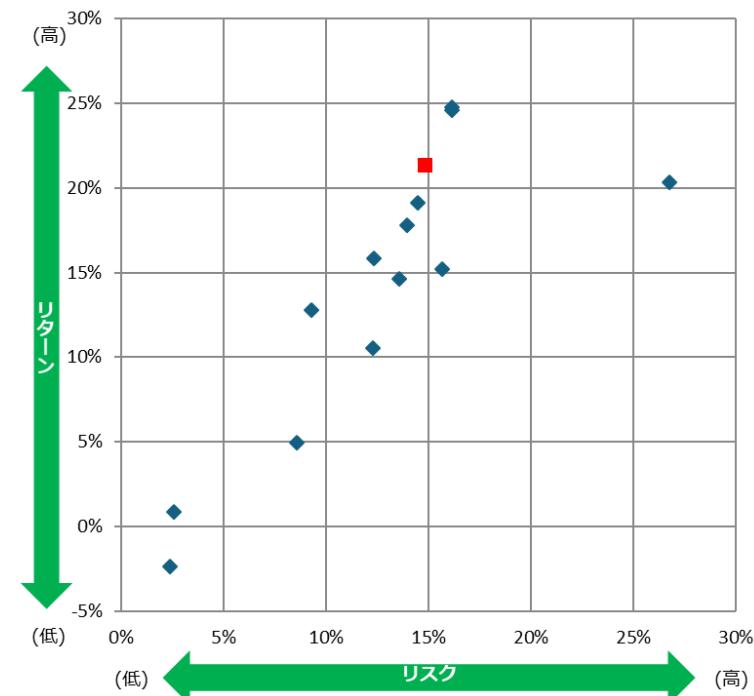
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2025年3月末)

- JAバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.83%、平均リスク14.81%に対して、平均リターンは21.32%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



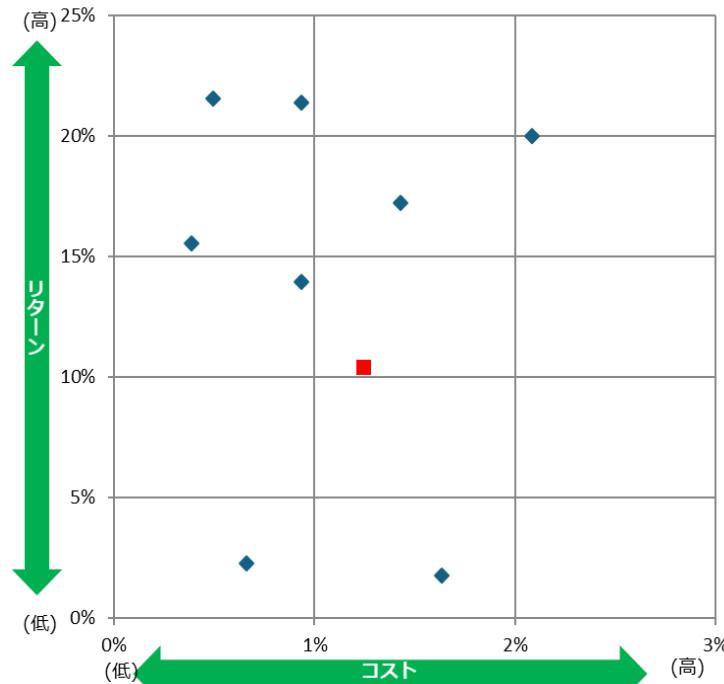
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ. 比較可能な共通 KPI

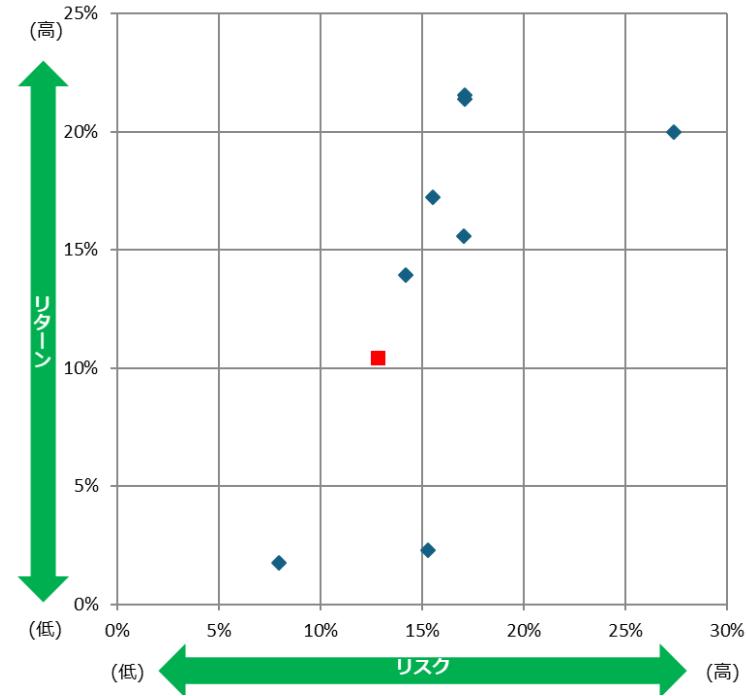
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2024年3月末)

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.25%、平均リスク12.85%に対して、平均リターンは10.42%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



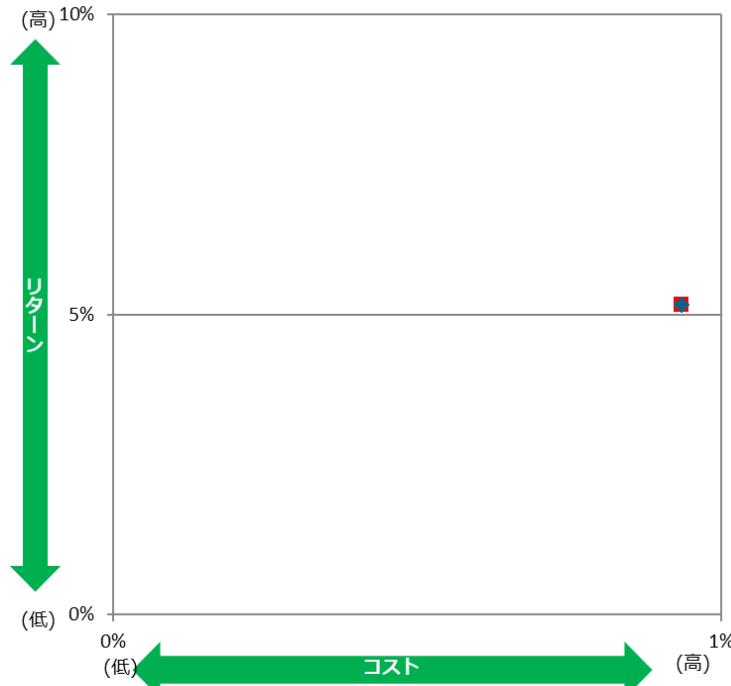
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

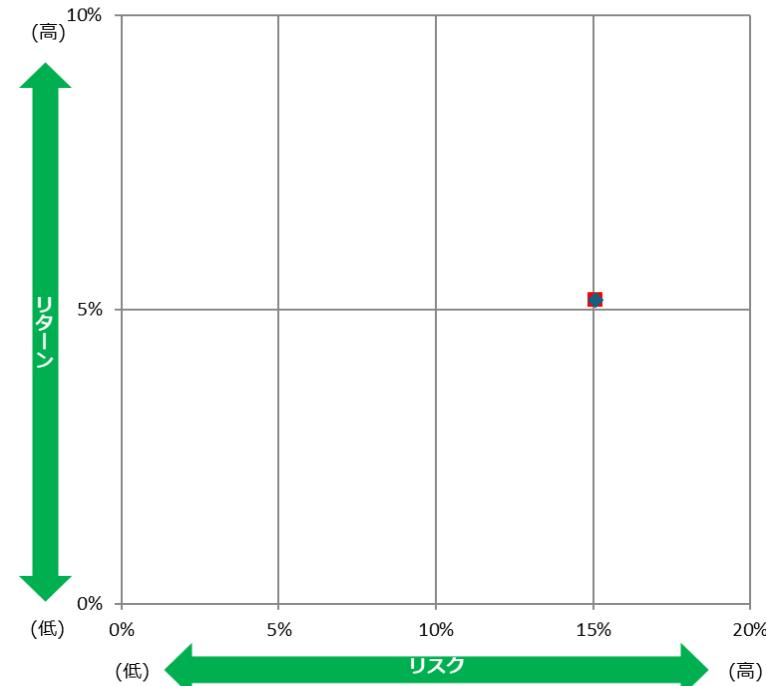
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.94%、平均リスク15.06%に対して、平均リターンは5.17%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2025年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
2	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
4	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
5	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
7	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	0.87%	2.57%	0.91%
8	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-2.36%	2.41%	0.26%
9	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
10	J A T O P I X オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.82%	12.33%	0.94%
11	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
12	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューアインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
13	おおぶね J A P A N (日本選抜)	農林中金バリューアインベストメンツ(株)	10.52%	12.27%	1.21%
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		21.32%	14.81%	0.83%

※ 2025年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は13本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン・リスク・リターン (2/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
2	つみたて米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
4	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	13.95%	14.20%	0.94%
5	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
6	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.28%	15.30%	0.66%
7	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
8	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		10.42%	12.85%	1.25%

※ 2024年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は8本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.17%	15.06%	0.94%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		5.17%	15.06%	0.94%

※ 2023年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は1本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。